

第5章

こころ豊かに夢をはぐくむまちづくり

- 1 学校教育
- 2 生涯学習
- 3 文化・芸術
- 4 スポーツ

1 学校教育

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

子ども達が夢や希望をしっかりと持ち、目標に向かって取り組んでいます。

蒲郡で学び、育ったことを誇りに思い、蒲郡に愛着を持っています。

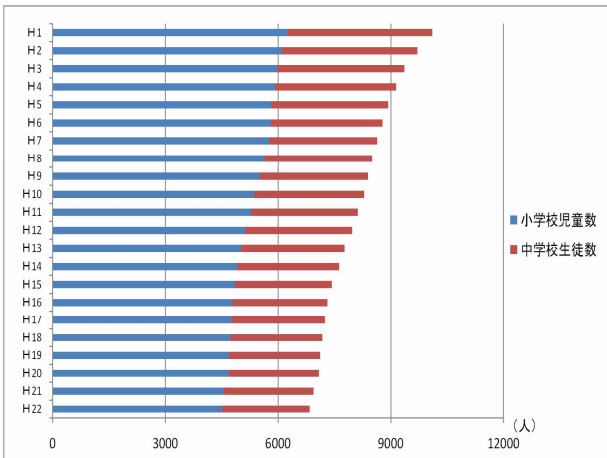
現状と課題

- ・急激な社会情勢の変化に伴い、子どもたちの生活環境も大きく変わり、「命を大切する心」や「善悪の判断ができる規範意識」すらも問題となっています。
- ・「社会で生きるために必要なマナー」や「他人の痛みがわかる心」など家庭環境の中で学習する部分が減少してきています。
- ・いじめや不登校などの問題については、スクールカウンセラーや臨床心理士などの専門的な立場からのカウンセリングなどを実施してきました。しかし生活環境の多様化による問題の複雑化が一層進み、解決への困難さが増しています。
- ・子ども一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導ができるよう、少人数学級の導入、2学期制の導入などを行ってきました。今後も更にこの方針を推し進め、確かな学力の定着を目指します。

【施策の体系】	
1	子どもの夢をはぐくむ教育の推進
2	特色ある学校づくりの推進 学校独自の教育活動 地元の特色を生かした活動 地元とのつながりを持つ活動
3	国際理解教育の推進 国際理解学習 交流機会の提供
4	学校教育施設の整備 安全・安心な学校施設整備 将来を見据えた環境整備

- ・家庭環境の複雑化により、家庭と学校のつながりがうまくいかないケースが増えています。家庭と学校だけでなく、地域の人々に支えられた子どもの育成が必要です。
- ・国際化が進み、学校での国際理解教育が重要視されています。日本と外国との関わりや、文化・習慣の違いなどの学習が必要となってきました。
- ・本市の学校校舎は昭和40年代に多くが鉄筋コンクリート化されています。建築後40年以上経過し施設の老朽化が進んでいます。建物内の衛生設備の老朽化や学校敷地内のバリアフリー対応など、現在の社会情勢に合った施設づくりが求められています。
- ・児童生徒数の減少などを鑑み、子どもたちがよりよい共同生活を送ることができる、様々な学校環境を整える必要があります。

児童・生徒数の推移



学校生活の様子



施策の内容

1 子どもの夢をはぐくむ教育の推進

- ・たくましく生きるための健康と体力づくりに努めます。
- ・自ら学び、考える力を育成し、基礎・基本学力の定着に努めます。
- ・「蒲郡」を活かした学習機会を構築し、蒲郡を大切に子どもを育成します。
- ・子どもが、生きる夢や目標をもてる教育をします。
- ・誰とでも分け隔てなく仲よくできる子どもを育てます。
- ・学校給食を通じて、食べる楽しさや食事のマナーなどを学ぶ食育を推進します。
- ・率先して子どもに範を示し、教師としての自覚と使命感を持ち続ける、魅力ある教師を育成します。
- ・特別支援が必要な子どもに補助員を適切に配置します。
- ・保護者や地域の人々の学校行事などへの参画を通して地域との連携体制を構築します。

【主な取組】

- ・少人数指導、個別指導の拡充
- ・職場体験学習の充実
- ・地域ふれあい活動などの推進
- ・親子教室、父母教室の充実
- ・スクールカウンセラー、相談員の全校配置の推進

2 特色ある学校づくりの推進

学校独自の教育活動

- ・各学校が、児童・生徒の個性を生かした創造的で柔軟な教育活動を展開していきます。

地元の特色を活かした活動

- ・地域の特色や伝統文化を積極的に取り入れ、地元とのつながりを意識した校内活動を展開します。

地元とのつながりを持つ活動

- ・地元還元するボランティア活動を推進し、社会活動への参加を促進します。

【主な取組】

- ・地元の理解を深めるための、外部講師授業の実施
- ・ICT環境を活用した学校独自の授業展開
- ・地元還元する福祉活動の実施

3 国際理解教育の推進

国際理解学習

- ・国際化に対応するため、世界の現状を知り、課題に気づき考える力を身につけるための活動を展開します。活動を通して外国の文化や日本と外国の関わりを学習します。

- ・国際理解教育の基礎として、外国人による授業を実施します。

交流機会の提供

- ・外国人児童・生徒との交流機会を増やし、外国を身近な存在として認識できるような環境を提供します。

【主な取組】

- ・外国人講師の全校配置の推進
- ・小学生、中学生の海外派遣事業
- ・市内在住外国人との校内活動の推進
- ・アフタースクールの推進

4 学校教育施設の整備

安全・安心な学校施設整備

- ・耐震性能のない学校施設の耐震化を推進します。
- ・老朽化した学校施設の改修を進めます。
- ・全ての人々がバリアなく使用できる施設への改修を実施します。

将来を見据えた環境整備

- ・質の高い教育環境を提供できるよう、学校再編計画を策定します。

【主な取組】

- ・校舎耐震補強事業
- ・プール改修事業
- ・学校再編計画策定事業

【関連する計画等】

- ・蒲郡市学校教育ビジョン（平成20年3月）

2 生涯学習

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

地域に根ざした生涯学習活動がまちづくりへと広がっています。

生涯学習ニーズの把握と活動の応援体制により、だれもが生涯学習活動の第一歩を踏み出しています。

現状と課題

- ・心豊かな生活を送るために、余暇の有効活用として生涯学習活動をする人が増えています。本市が主催する生涯学習講座をはじめ、出前講座、公民館や勤労青少年ホームで開催される講座にも、多くの市民が参加しています。
- ・蒲郡市文化スポーツリーダー登録制度（GCSL）にも多くの方の登録があります。新規の学習内容の登録もあり、市民の自主的な生涯学習活動を推進するためのツールとして活用されています。
- ・学習ニーズは個人の趣味性が高いものに偏っており、家庭や地域、異世代との結びつきが乏しくなっています。この要因のひとつとして、学習活動の成果を発表する機会が少ないこともあげられます。

- ・学習の場を提供する公民館や勤労青少年ホームでの新規の講座の開設が少ないなどの問題もあげられます。市民の生涯学習活動のニーズに柔軟に対応することが求められています。
- ・講座の参加者、指導者の高齢化も進んでおり、参加年齢の偏りと指導者の後継確保が課題となっています。
- ・学習の場として開放される施設（公民館や市民会館、学校施設等）の老朽化も進んでいます。参加者の利便性、安全性を考慮し、耐震化やバリアフリー化を実施し、安心して学習できる場所の確保も大きな課題としてあげられます。
- ・市民の自発的な学習活動の推進と、発表機会などを利用した地域との交流をきっかけとし、地域との結びつきを強め、年齢や職種を問わず、互いに教え合う関係を作っていくことが重要です。

【施策の体系】

1	自発的な生涯学習活動の推進
2	学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進
3	公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流
4	学習活動からまちづくりへの展開

生涯学習活動を活かしたまちづくりの例



出前講座派遣状況

	開設(回)	受講者(人)
H17	144	9,384
H18	169	9,885
H19	211	11,312
H20	255	14,180
H21	263	15,778

施策の内容

1 自発的な生涯学習活動の推進

- ・市民が生涯学習活動の第一歩を踏み出せるよう、学習ニーズの把握に努めます。学習活動が継続できるよう、適切な時間、学習仲間、活動場所の3要素を提供します。
- ・市民に身近な公民館などを活動の拠点として、市民が先生となり互いに学び合える関係を築き、継続的な学習活動が展開できるよう運営を目指します。
- ・公民館など生涯学習センターとしての機能することができるよう各施設と協力し、企画・相談・支援・ネットワーク化など求められる機能が、市民に一番近い場所で提供できる体制づくりを目指します。

【主な取組】

- ・生涯学習講座
- ・出前講座、GCSL登録・派遣事業
- ・文化振興事業
- ・生涯スポーツの育成・普及事業
- ・公民館事業
生涯学習講座
成人学級（家庭教育学級 / 高齢者教室）
- ・生涯学習情報提供・相談システム
- ・市民大学構想

2 学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進

- ・学校施設や公民館はもちろんのこと、生命の海科学館や愛知工科大学など地域の持つ資産を活用した生涯学習活動を進めることで、地元根ざした学習活動の展開を図ります。
- ・生涯学習活動を通じて、世代や年齢、地域を問わず交流が深まることで、市民が豊かなこころを育み、生きがいをもって生活ができるだけでなく、地域や家庭での教育力の向上を図ります。

【主な取組】

- ・学校開放講座
- ・ミニ博物館構想
- ・東三河連携講座
- ・子ども交流体験活動事業
- ・公民館・地域との連携事業
大塚橋丘里山推進事業
- ・各種団体との連携
蒲都市子ども会連絡協議会
蒲都市PTA連絡協議会
社会教育審議会
少年少女発明クラブ

3 公民館を拠点とした学習機会の充実と地域交流

- ・子どもと大人が地域で一緒に学べる体制づくりとして、公民館を拠点とした学習活動の充実を図ります。
- ・地域の行事や祭りに協力することで、伝統文化を学び、伝える大切さを学ぶだけでなく、若手指導者の育成による学習の質の向上を図ります。
- ・地域内の結びつきが深まることで、新たな学習ニーズの把握や、連携の強化など学習環境の向上に努めます。
- ・地域の学習拠点となる公民館を舞台に、年齢を問わず学習活動の輪が広がることで、地域が人を育てる環境となるよう努めます。

【主な取組】

- ・公民館・地域との連携事業
公民館まつり
地域ふれあい活動
地域体育祭、スポーツ大会
子ども向け教室・講座
地域における祭典への協力・参加
大塚橋丘里山推進事業
- ・伝統文化子ども教室事業
- ・家庭教育推進事業
- ・幼児教室

4 学習活動からまちづくりへの展開

- ・学ぶ楽しさから、学習で得た知識を活かす楽しさにつなげていけるように、様々な世代や、他地域による人材と連携を行うことで、学習活動を生かしたまちづくり体制の確立を目指します。
- ・各種団体や指導者と協力し、市民が交流できる場を提供することで、生涯学習活動を通じて地域が一体となり、市民が情報発信や活動の中心となって動き、まちづくり活動に発展できるように努めます。

【主な取組】

- ・生涯学習講座
- ・生涯スポーツの育成・普及事業
- ・公民館事業全般
- ・蒲郡俊成短歌大会
- ・蒲郡子ども交流体験活動
- ・成人式実行委員会

【関連する計画等】

蒲都市生涯学習活動推進計画 2005（平成17年度～平成26年度）

3 文化・芸術

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

文化・芸術活動が日常に溶け込んでいます。
郷土の歴史や文化、産業を学び、蒲郡に誇りを持つ市民が増えています。

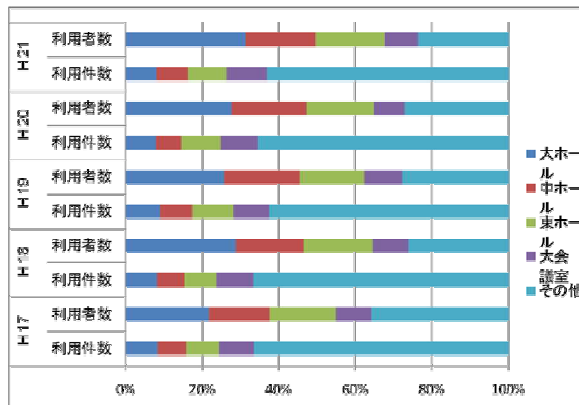
現状と課題

- ・現在、市内には20部門、会員数約3,000名からなる文化協会があり、様々な分野で自主的な活動が展開されています。
- ・文化協会会員の高齢化などの課題もあり、将来を見据えた指導者育成や若年層への働きかけが必要になっています。
- ・市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために始まった文化公演事業は、ニーズの多様化に対応できるよう、質の高い公演を数多く実施できる方法を検討する必要があります。
- ・本市には、有形無形の文化財や歴史、民俗学的資料、天然記念物などが数多くあります。しかし、

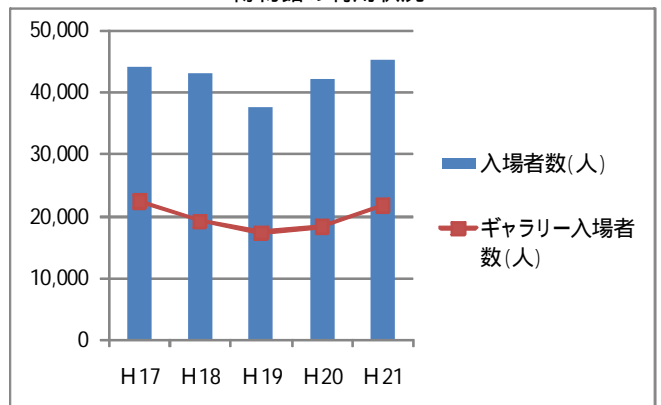
【施策の体系】	
1	市民参加型・共催型の文化公演の実施
2	郷土の伝統文化の保存と活用
3	文化財の活用と市民団体との連携
4	文化施設の充実と改修計画の策定

- これらを資産として十分に活用する状態に至っていません。
- ・市民団体による顕彰会・愛好会の活動が始まり、学校や観光協会・観光施設と連携をとり、地域とともに調査研究を進めていく必要があります。
 - ・図書館、市民会館等に指定管理者制度が導入されました。指定管理者の自主事業による市民サービスの向上が期待されています。
 - ・施設の老朽化は最大の課題です。展示スペースや書庫の拡充、施設のバリアフリー化、耐震化など、計画的な改修の検討が必要です。

市民会館の利用状況



博物館の利用状況



施策の内容

1 市民参加型・共催型の文化公演の実施

- ・日ごろの文化活動を発表し、互いに理解し合う環境づくりを目標とし、市民参加型の文化公演事業の実施を検討します。市民文化祭など発表の場を活かした公開オーディションの実施や、市民による推薦などにより、選び抜かれた市民・団体による文化公演事業を実施し、市民の文化芸術に対する意識の向上に努めます。
- ・一流の文化芸術に触れる機会の増加策として、民間企業との共催形式での文化公演事業の実施を推進します。民間企画の興行を誘致し、質の高い公演を数多く提供できる体制づくりを目指します。

【主な取組】

- ・文化公演事業
- ・音楽のまちづくり事業
- ・指定管理者による自主事業
図書館講座、企画展事業

2 郷土の伝統文化の保存と活用

- ・三谷祭、ちゃらぼこ、舞踊など長年、地域で愛され親しまれている伝統文化を大切に保存するとともに、保存会と協力して伝承に努めます。
- ・手織場や製塩、ロープなど、郷土産業の体験コンテンツの導入を目指します。特色ある学校づくりにより整備された「塩田」や繊維・ロープなどの地元企業と連携した、産業体験型の「ミニ博物館構想」を実施して、蒲郡の伝統産業や工芸品を市民が体験を通じて学ぶ機会として提供できるよう努めます。

【主な取組】

- ・文化財保護事業
- ・ミニ博物館構想
- ・市史編纂事業

3 文化財の活用と市民団体との連携

- ・本市の誇る歴史的・文化的遺産である、清田の大クス、上ノ郷城跡について、市民の文化の向上へ活用するための保存整備を進めていきます。整備にあたり、それぞれの愛好会や保存研究会などとも協働して取り組んでいきます。
- ・文化協会をはじめ、各種団体の自主的な活動を支援するとともに、幅広い層の文化活動の参加、研究や文化財保護を促進します。特に小中学校での授業も視野に入れ、児童向けの情報発信を行い、市民団体・顕彰会活動の周知を図ります。
- ・本市の観光シンボルである竹島において、文学作品朗読や短歌吟行会、薪能など、歴史や文化を取り入れた学習会を実施することにより、市民が豊かな教養と「文学のまち」としての誇りを持てるように努めます。

【主な取組】

- ・史跡、天然記念物整備事業
- ・藤原俊成顕彰会事業
- ・清田の大クス愛好会
- ・上ノ郷城跡を愛する会
- ・文化団体育成事業

4 文化施設の充実と改修計画の策定

- ・図書館等の蔵書や収蔵資料の充実を図るとともに、建物の耐震化をはじめ展示スペース、書庫などの拡充、施設のバリアフリー化などの改修が実施できるよう計画の検討を進めます。
- ・市民会館については、音響・照明設備全般の改修や建替えを検討する委員会を立ち上げ、今後の運営方針と併せた検討を進めます。
- ・海辺の文学記念館、生命の海科学館などの文化施設の更なる有効活用も併せて検討します。

【主な取組】

- ・老朽文化施設の改修検討事業
- ・図書館の活用、充実
- ・蔵書、展示物の充実・研究事業

【関連する計画等】

蒲郡市生涯学習活動推進計画 2005（平成 17 年度～平成 26 年度）

4 スポーツ

【施策の体系】	
1	生涯スポーツの推進
2	競技スポーツの推進
3	指導者の育成
4	スポーツ・レクリエーション施設の充実

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

年齢・体力に合わせて、各世代がスポーツを楽しんでいます。

スポーツを通じて交流が深まり、元気な声援が響きあっています。

現状と課題

- ・子ども達は、テレビゲームを含む情報機器の普及や学校外の学習時間の増加等により、運動やスポーツ、外遊びをする時間、仲間が減少しています。
- ・大人は余暇時間の増大、高齢化社会の進展、健康への関心の高まりなどに伴い、スポーツへの関心が増しています。
- ・健康づくりや体力の維持向上を図るため、生涯にわたって継続することができるスポーツ活動の推進に取り組むことが必要です。
- ・スポーツは、単に健康や体力の維持・増進の手段だけでなく、生きがいづくり、仲間づくり、地

域コミュニティづくりなど様々な効果が期待できます。

- ・現在、体育協会、スポーツ少年団活動が幅広い分野で展開されていますが、生涯スポーツとして、だれでも、いつでも取り組むことのできる新しい分野のスポーツ(ニュースポーツ)の普及・啓発が課題となっています。
- ・施設によっては老朽化した施設もあり、適正な日常管理と計画的な改修が求められています。
- ・利用者ニーズにこたえるために施設の情報提供が求められています。

主要体育施設の利用状況 単位：人

	18年度	19年度	20年度
体育センター	146,112	126,623	139,375
テニス	37,844	34,998	35,568
野球場	37,697	44,954	42,452
ソフトボール場	40,568	38,948	40,300
その他	65,965	67,193	69,336
合計	328,186	312,716	327,031

ノルディックウォーキング



施策の内容

1 生涯スポーツの推進

- ・子どもから高齢者まで誰でも楽しめるニュースポーツの普及に努めます。
- ・市内各地に設けられたウォーキングコースを活用し、体力増進にもつながるノルディックウォーキングの普及に努めます。
- ・体育協会主催のスポーツ教室について、積極的に情報を提供し、だれでも、いつでも気軽にスポーツに取り組めるよう努めます。
- ・海もあり山もある地形を活かして、トライアスロン、スカイスポーツ、マリンスポーツやグラウンドゴルフなどの普及に努めます。
- ・傷害事故に備えて、傷害見舞金等を給付する青少年団体等互助会への加入促進を図ります。

【主な取組】

- ・ニュースポーツ普及事業
- ・三河湾健康マラソン大会開催事業
- ・ノルディックウォーキング大会開催事業
- ・トライアスロン大会開催事業
- ・青少年団体等互助会制度

2 競技スポーツの推進

- ・各年齢層の指導者が連携を図りながら、発育段階に応じた適切な指導を行うことができるプログラムの作成を推進します。
- ・競技者を育成するため、体育協会、競技団体、学校運動部、地域スポーツクラブ相互の連携を図り、かつ、他地域との交流試合やプロ選手の指導機会を設けるなど、より高いレベルを目指した活動の展開に努めます。
- ・運動をする機会が減少している子ども達に対し、運動効果や仲間づくりに効果の高い競技スポーツへの取り組みを推進するため、スポーツ少年団活動の普及・啓発・加入促進に努めます。

【主な取組】

- ・スポーツ教室開設事業
- ・スポーツ少年団活動
- ・スポーツ大会等開催事業
- ・ウエスタンリーグ公式戦開催事業
- ・県市町村対抗駅伝競走大会参加事業

3 指導者の育成

- ・生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に欠かせない指導者について、体育指導員の中から育成担当者を定め、指導者の育成と資質向上に努めます。
- ・スポーツ少年団の指導者や種目別指導者の養成を図り、地域スポーツクラブ等での指導機会の拡充に努めます。

【主な取組】

- ・体育スポーツ活動事業補助

4 スポーツ・レクリエーション施設の充実

- ・大学・高校も含めた学校施設利用の簡素化を図り、気軽に利用できる仕組みを整えます。
- ・施設予約を簡易に行うことのできるインターネット施設予約システムの普及・啓発に努めます。
- ・近隣市町との相互施設利用について検討します。
- ・障がい者と一緒にマリンスポーツを楽しめるバリアフリーポンツーンについて、既存施設の周知を図り、増設について検討していきます。
- ・地域の健康づくりやスポーツ活動を行うための拠点づくりとして、公民館等において、ニュースポーツなどに取り組むことができるよう、備品・用具の充実を図ります。
- ・いつでも、安全にスポーツを楽しめるよう、計画的な施設の改修に努めます。

【主な取組】

- ・学校体育施設開放事業
- ・施設整備事業
- ・さがらの森維持管理事業
- ・施設予約システム管理事業

【関連する計画等】

- ・蒲郡市生涯スポーツ推進計画（平成13年度～）

